



# 2014年度上期決算 決算説明資料

---



**住友理工株式会社**  
SUMITOMO RIKO Company Limited

# 2014年度上期 業績

---

# 2014年度上期 当社グループを取り巻く事業環境

## ①経済情勢

欧米

米国経済は、雇用者数の増加や個人消費回復により緩やかな回復  
欧州経済は、ウクライナ情勢や各国の財政再建遅れで厳しい状況

日本

日本経済は、消費増税後の個人消費の回復遅れが企業業績に影響

新興国

中国では、不動産業や製造業の成長が鈍化  
南米経済は、ブラジルの成長鈍化やアルゼンチンの債務不履行問題により減速

## ②事業環境

自動車用品  
部門

米国自動車生産台数が増加し、欧州自動車市場も堅調だったが、南米市場が縮小  
アジアでは、中国やインドネシアで市場が拡大したものの、タイは政情不安で落ち込み  
国内自動車生産台数は前年同期比ほぼ横ばい

一般  
産業用品  
部門

プリンター向け機能部品は、高機能品の需要が伸び悩み  
建設・土木機械向け高圧ホースは、中国で建設工事件数が減少、  
国内は8月の大雨・洪水により建設工事の進捗に遅れ

原料価格

天然ゴムは値下がり、合成ゴムはナフサ連動で値上がり、鋼材価格が米国で上昇

為替

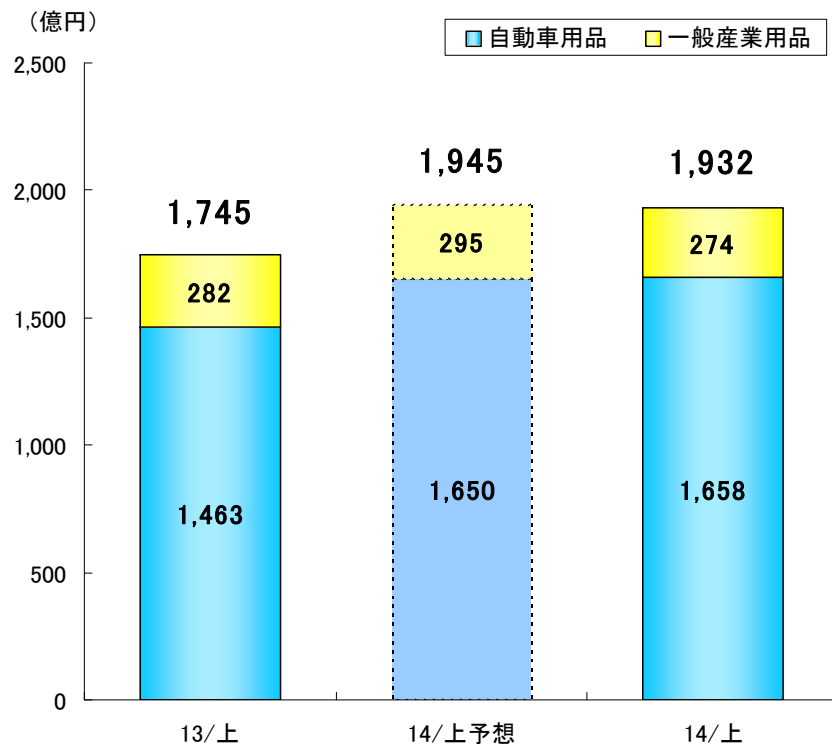
対ドルで円安が進行、9月以降は100円台後半で推移

## 2014年度上期 連結業績

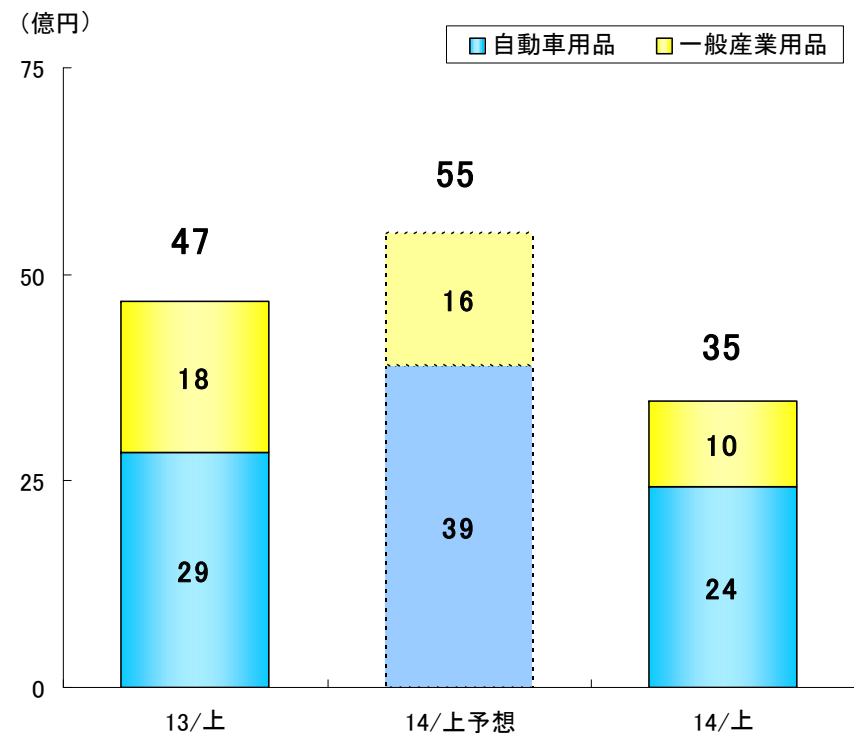
(金額:億円)	13年上期	14年上期	14年上期	前年同期比	
	実績	予想	実績	増減	増減率
売上高	1,745	1,945	1,932	+187	+10.7%
営業利益	2.7% 47	2.8% 55	1.8% 35	-12	-25.6%
経常利益	1.9% 33	2.1% 40	1.4% 27	-6	-18.4%
特別損益	25	0	7	-18	-73.0%
当期利益	0.8% 14	0.3% 5	0.2% 4	-11	-74.9%
為替レート(円/\$)	<98.86>	<100.00>	<103.05>	<4.19円安>	

# 2014年度上期 事業別セグメント 売上高・営業利益

## 売上高

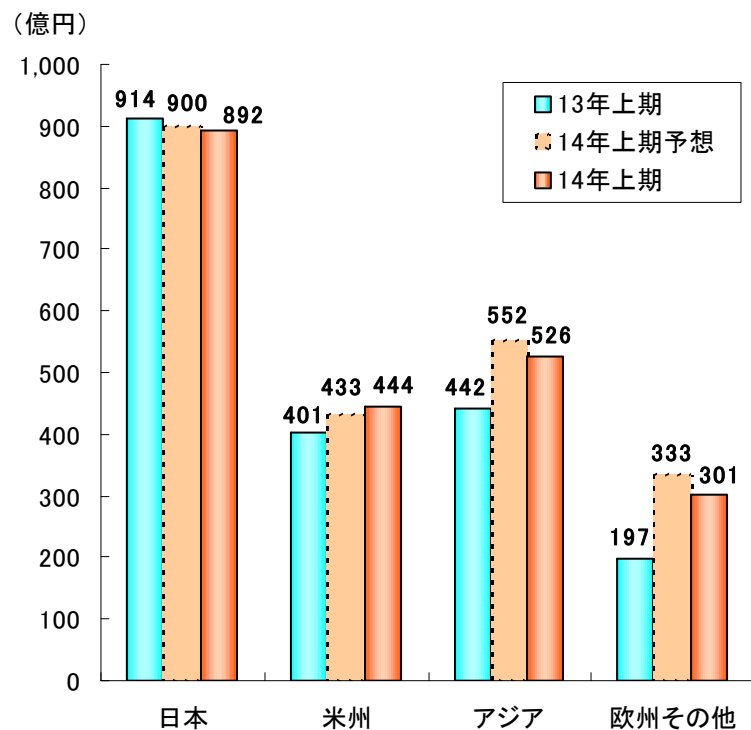


## 営業利益



# 2014年度上期 所在地別セグメント 売上高・営業利益

## 売上高

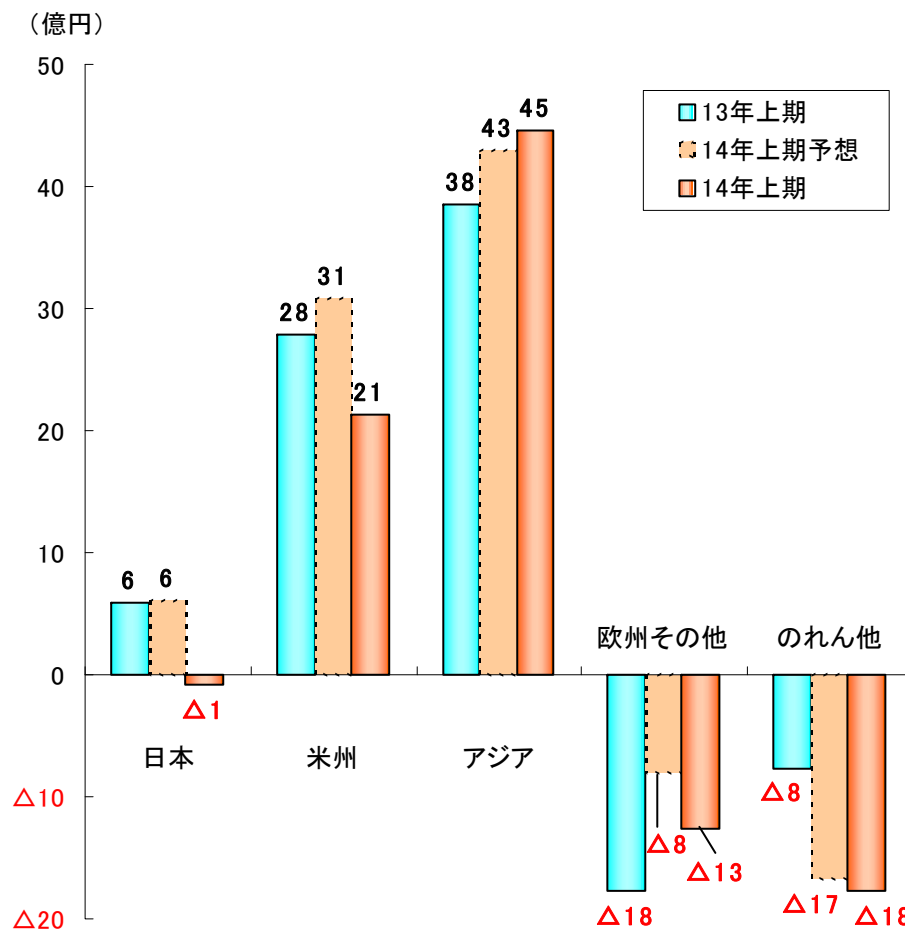


### <売上高構成比>

	日本	米州	アジア	欧州その他
13年上期	47%	21%	23%	10%
14年上期予想	41%	20%	25%	15%
14年上期	41%	21%	24%	14%

※地域間消去前

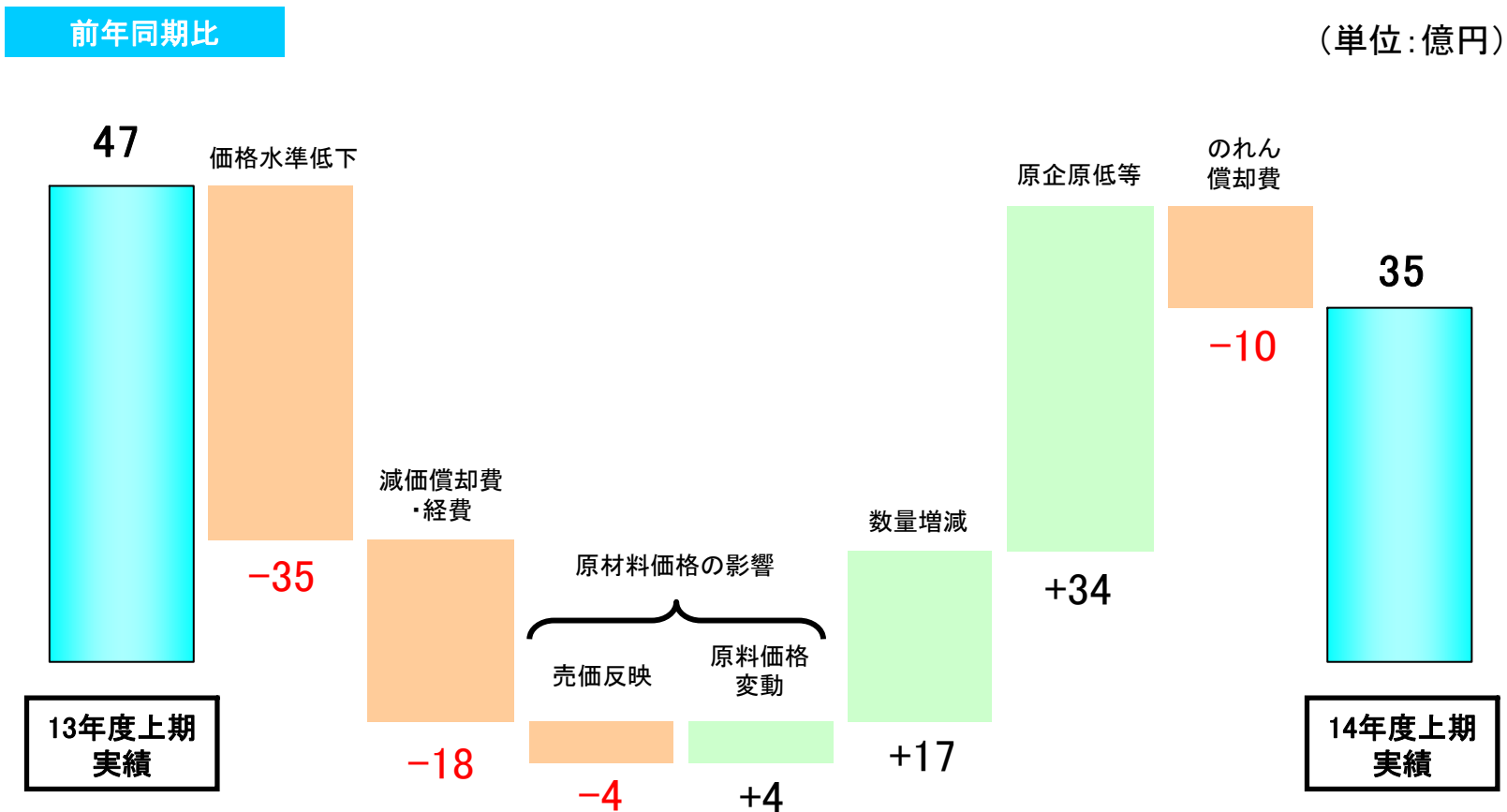
## 営業利益



### <営業利益率>

	日本	米州	アジア	欧州その他
13年上期	0.6%	6.9%	8.7%	△9.0%
14年上期予想	0.7%	7.1%	7.8%	△2.4%
14年上期	△0.1%	4.8%	8.5%	△4.2%

# 2014年度上期 営業利益増減要因 (2013年度上期→2014年度上期)



# 2014年度 業績見通し

---



# 2014年度予想 当社グループを取り巻く事業環境

## ①経済情勢

欧米

米国経済は緩やかな拡大を持続  
欧州経済は、けん引役だったドイツの成長も鈍化するなど、全般に低迷

日本

消費増税の影響が続き、景気回復がもたつく

新興国

中国経済は経済成長率が鈍化  
南米は経済低迷が下期も続く

## ②事業環境

自動車用品  
部門

米国市場は好調を持続するものの、欧州市場が減速、南米市場は低迷が続く見込み  
アジアでは、中国で日系カーメーカーの販売が減速する一方、タイは市場縮小が底打ち  
国内市場は、消費増税の影響による低調な国内販売が続く

一般  
産業用品  
部門

プリンター向け機能部品では、高機能品の需要は引き続き低調  
建設・土木機械向け高圧ホースは、厳しい市場環境が継続する見込み

原料価格

天然ゴムは下落基調が続き、合成ゴムは現在の価格水準の継続を見込む

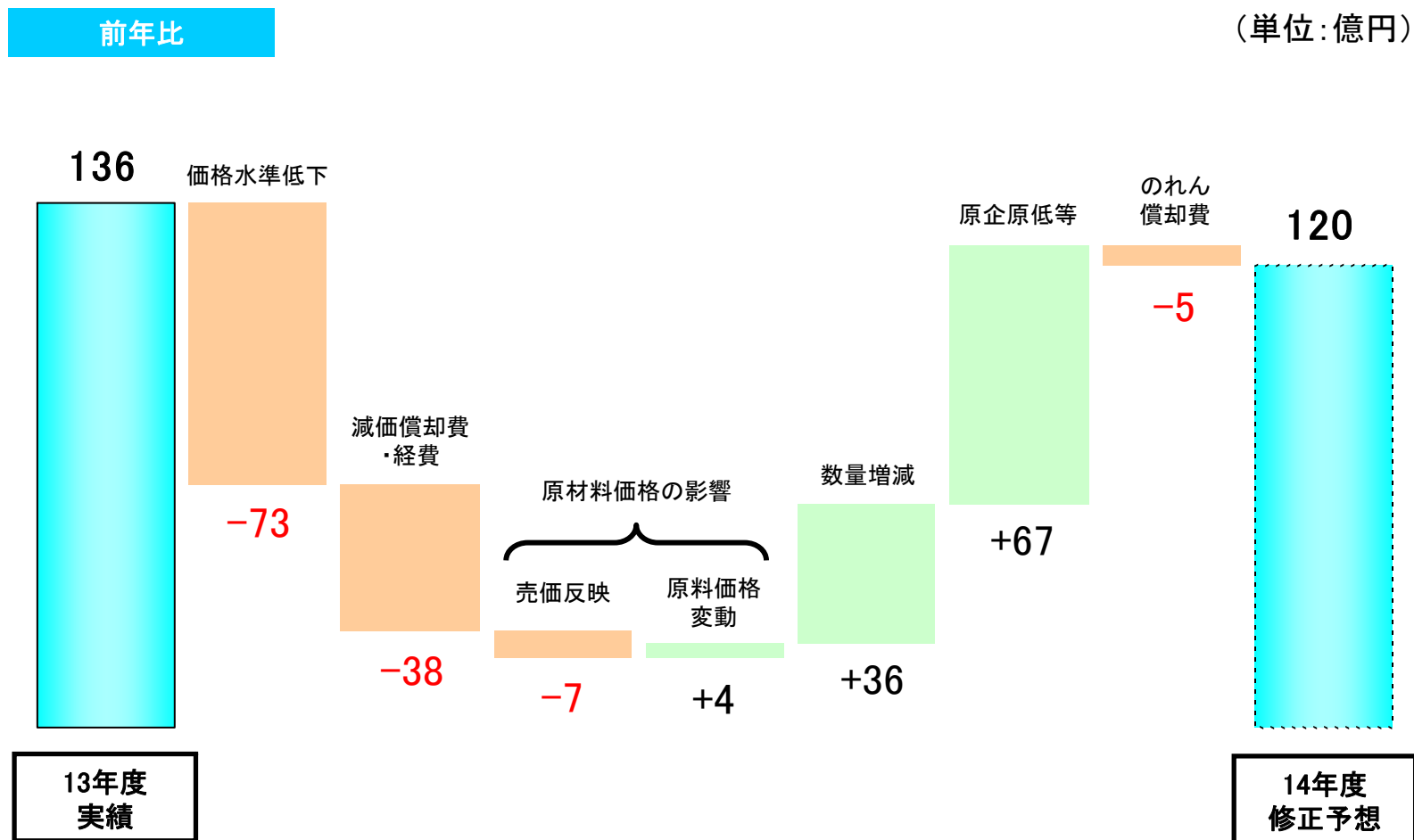
為替

下期は100円/USドルの水準を想定

## 2014年度予想 連結業績

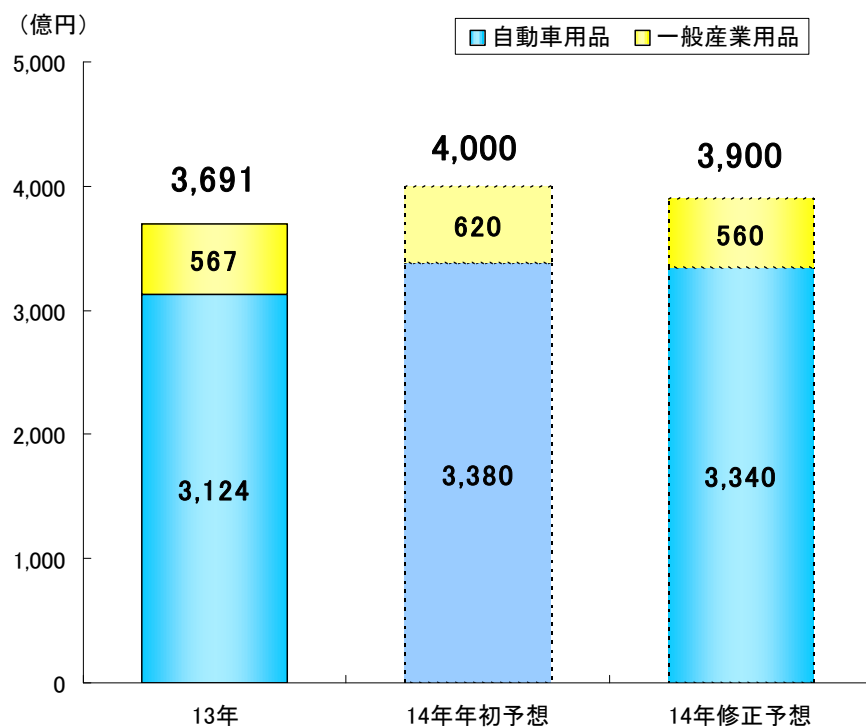
(金額:億円)	13年	14年	14年	前年度比	
	実績	年初予想	修正予想	増減	増減率
売上高	3,691	4,000	3,900	+209	+5.7%
営業利益	3.7% 136	4.0% 160	3.1% 120	-16	-11.6%
経常利益	3.0% 110	3.5% 140	2.6% 100	-10	-9.4%
特別損益	11	0	0	-11	-100.0%
当期利益	1.1% 41	1.3% 50	0.8% 30	-11	-26.4%
為替レート(円/\$)	<100.24>	<100.00>	<101.53>	<1.29円安>	

# 2014年度予想 営業利益増減要因 (2013年度実績→2014年度予想)

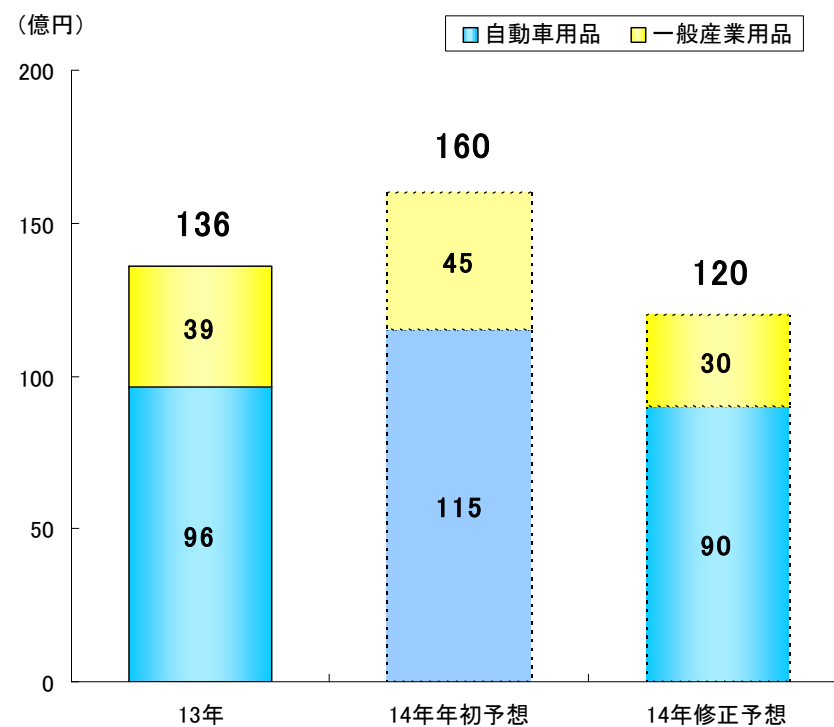


# 2014年度予想 事業別セグメント 売上高・営業利益

## 売上高

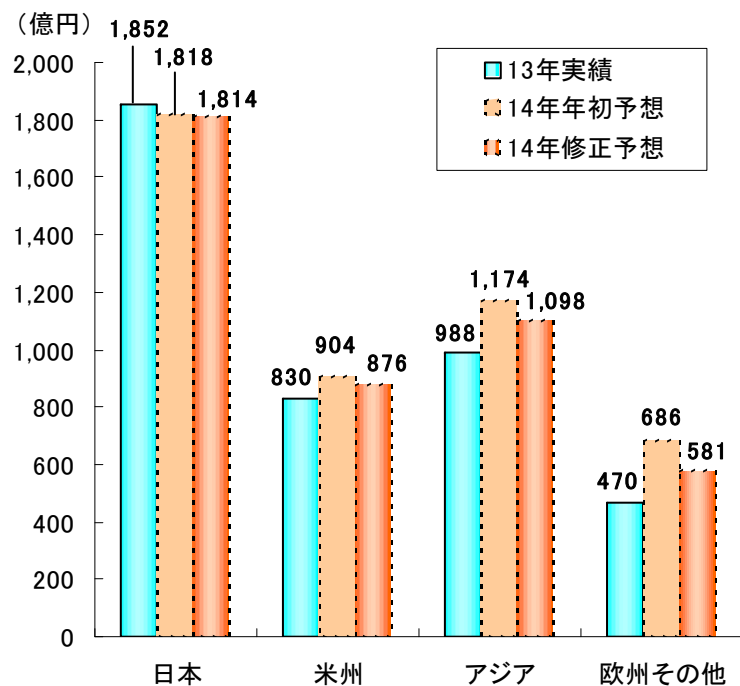


## 営業利益

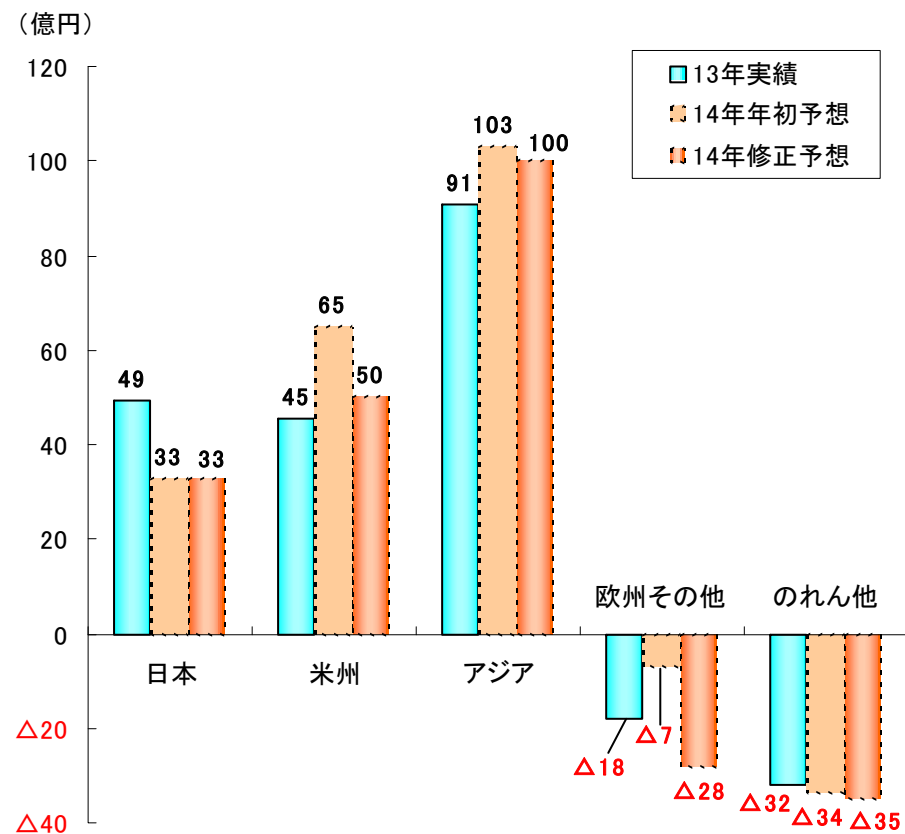


# 2014年度予想 所在地別セグメント 売上高・営業利益

## 売上高



## 営業利益



### <売上高構成比>

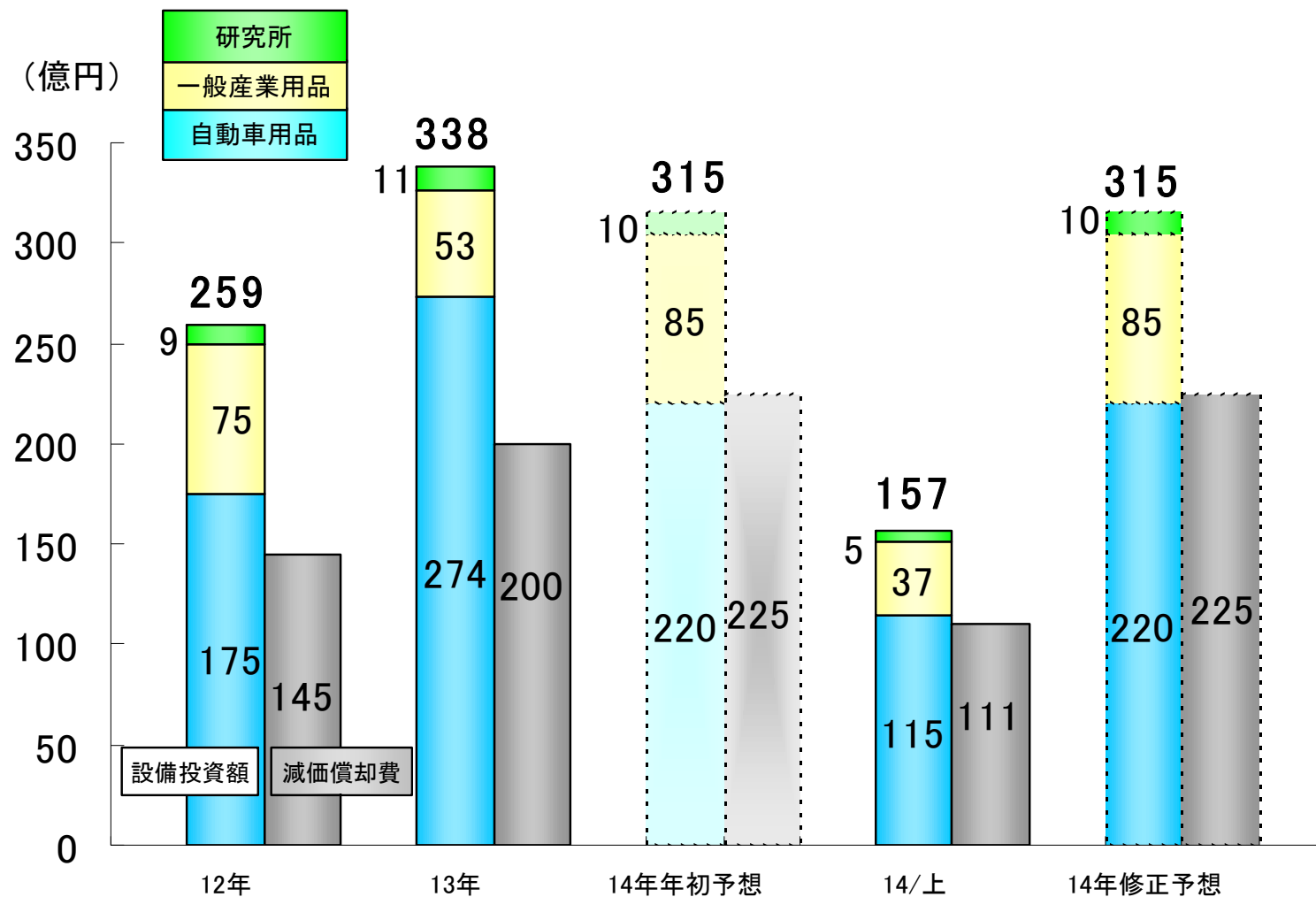
	日本	米州	アジア	欧州その他
13年実績	45%	20%	24%	11%
14年年初予想	40%	20%	26%	15%
14年修正予想	42%	20%	25%	13%

※地域間消去前

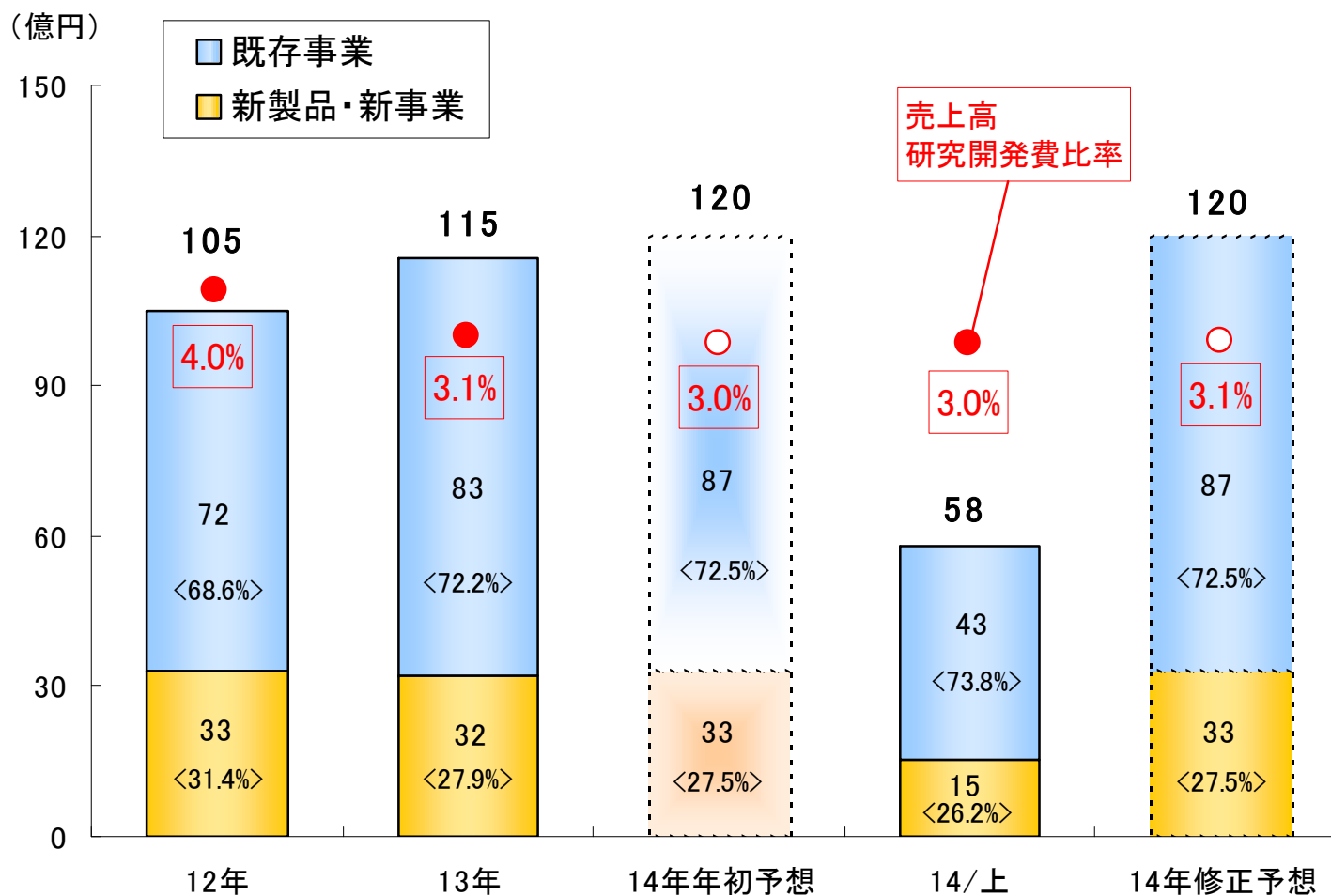
### <営業利益率>

	日本	米州	アジア	欧州その他
13年実績	2.7%	5.5%	9.2%	△3.8%
14年年初予想	1.8%	7.2%	8.8%	△1.0%
14年修正予想	1.8%	5.7%	9.1%	△4.8%

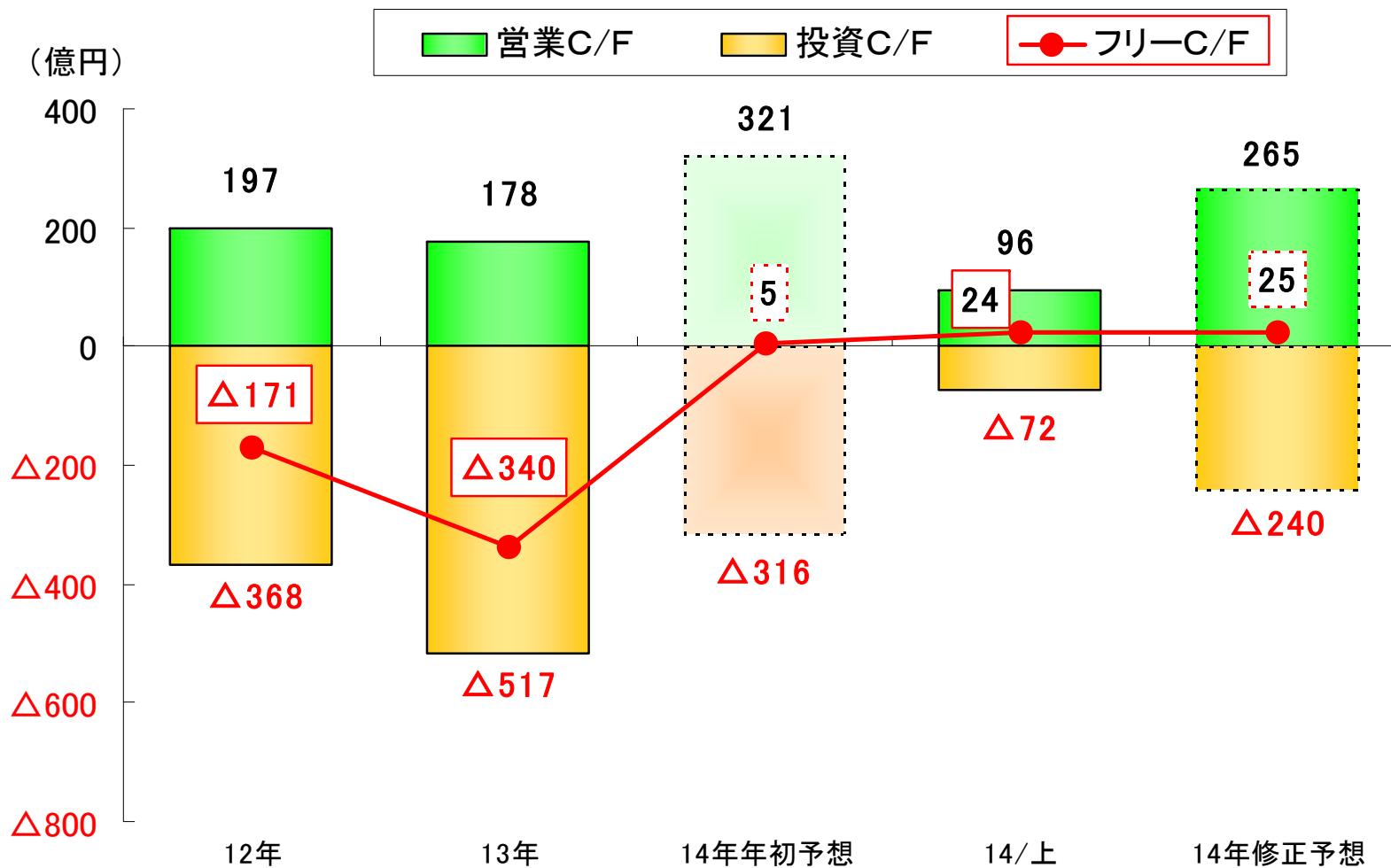
# 2014年度予想 連結設備投資額及び減価償却費



# 2014年度予想 連結研究開発費

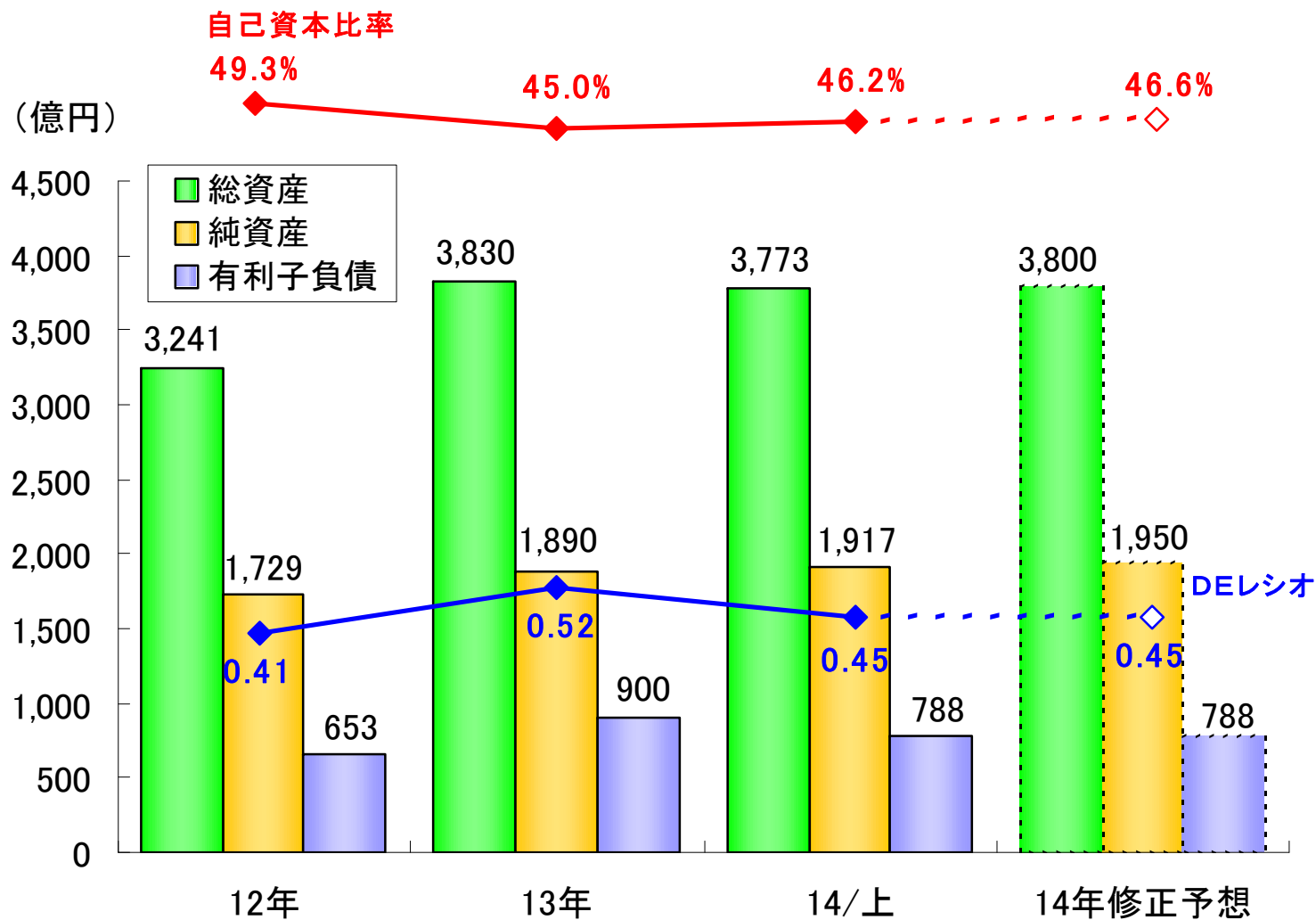


# 2014年度予想 連結キャッシュ・フロー

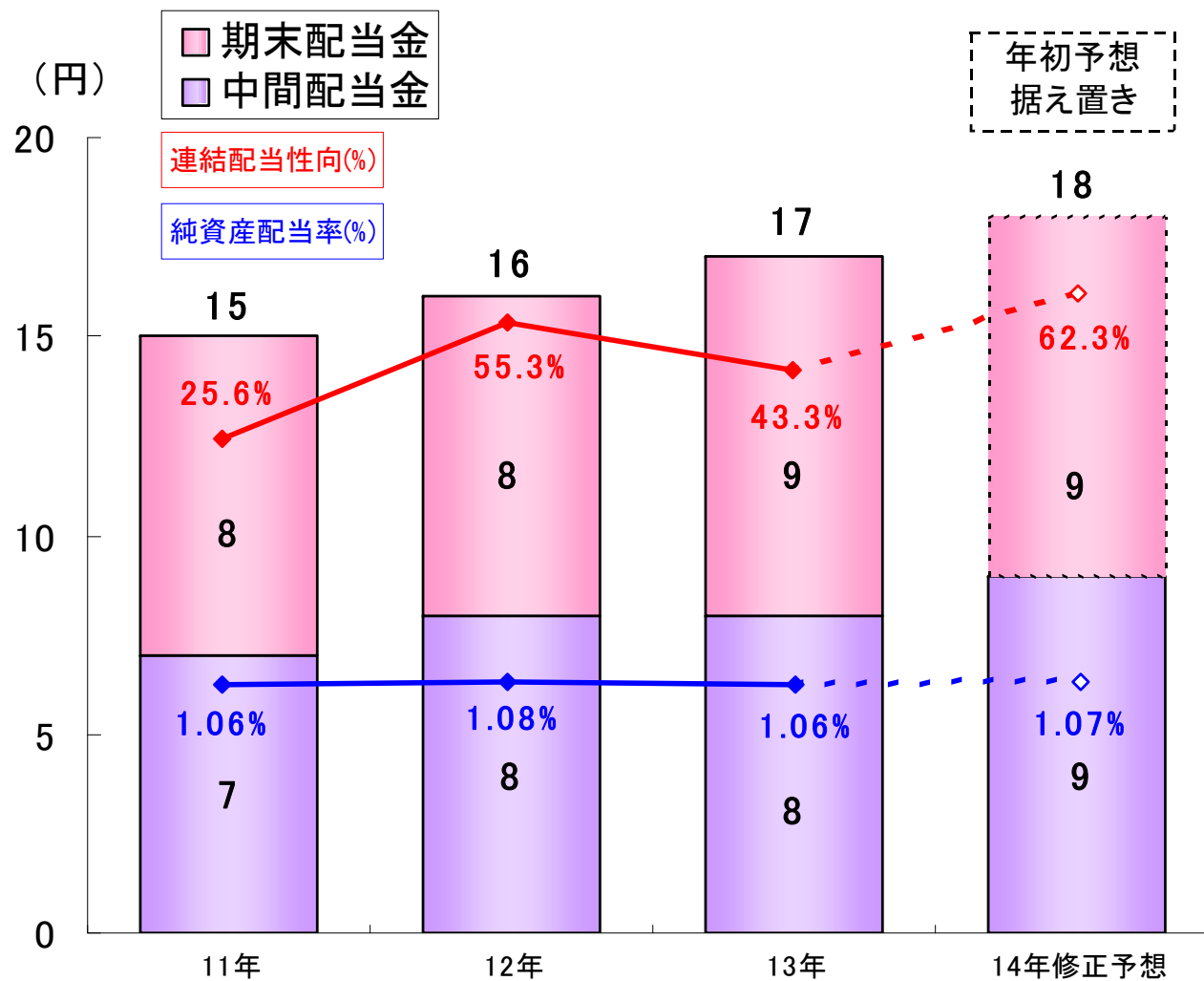




# 2014年度予想 連結資産状況



# 配当金について



# 2015VISION達成への取り組み

---

# 2020年のありたい姿の実現に向けた重点課題

## 2015VISION

“変革” “成長” “多様性”

- 「**既存事業の持続的成長**」
- 「**新市場・新分野への事業展開**」
- 「**2020年に向けた事業基盤の確立**」

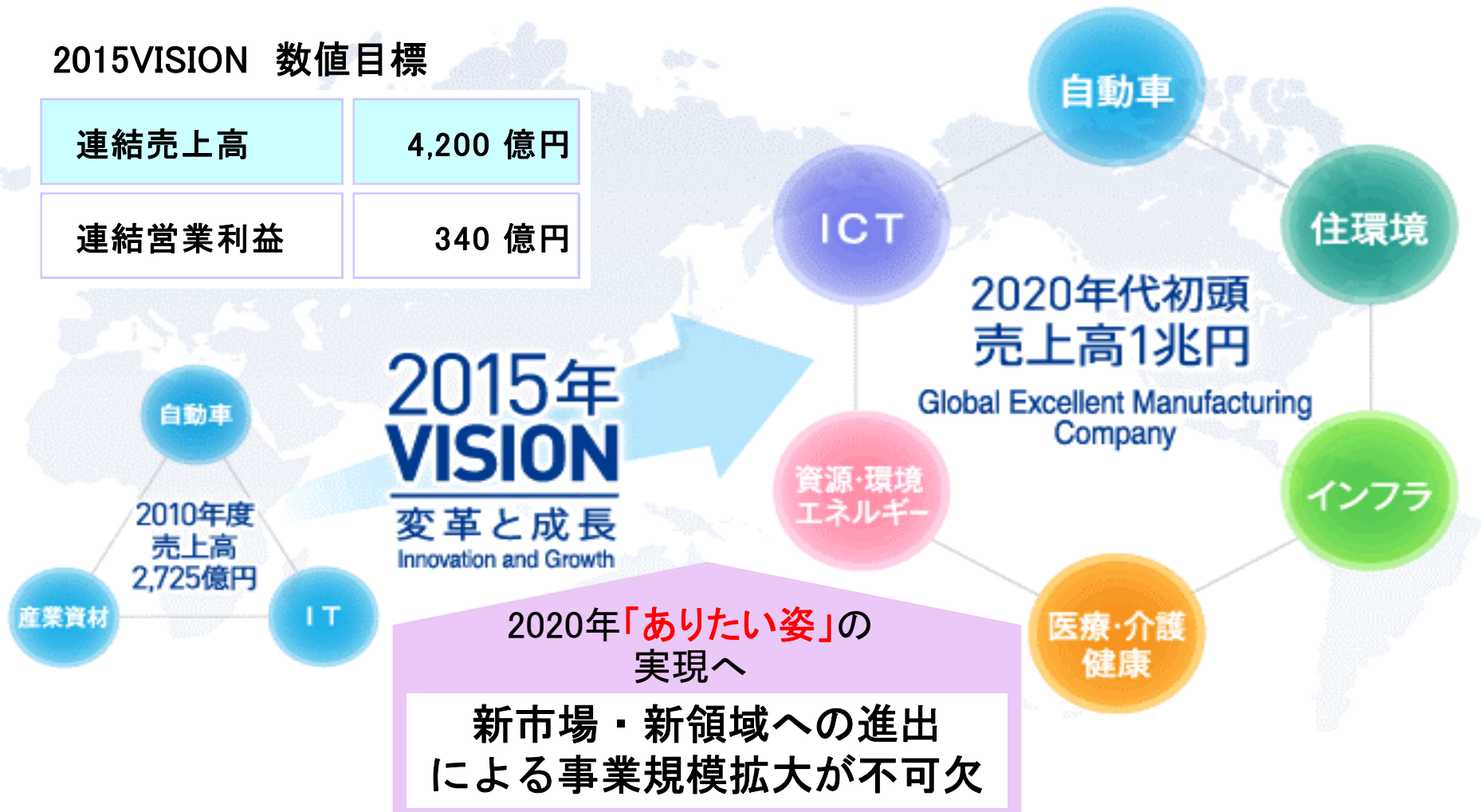
## 2020年のありたい姿の実現に向けた重点課題

1. 新規事業の育成・創出に向けた研究開発力の強化
2. 既存事業の拡販および新地域への展開体制の整備(市場調査・M&A等)
3. **企業ブランド・商品ブランドの構築による販売体制の拡充**
4. 新興国ローカルメーカーを圧倒する競争力の獲得
5. グローバル人材の確保と育成の仕組み構築

# ブランド戦略

## 2015VISION 数値目標

連結売上高	4,200 億円
連結営業利益	340 億円



当社の認知度を高めるブランド構築  
2014年10月1日 商号変更 住友理工株式会社

# 住友事業精神と住友理工グループ経営理念

## 住友事業精神

「住友の事業精神」は、住友家初代の住友政友が商売上の心得を簡潔に説いた「文殊院旨意書」を基に、住友の先人たちが四百年に亘り磨き続けてきたものです。その要諦は「営業の要旨」として、現在も住友各社の経営指針として引き継がれています。

### 営業の要旨

第一条 我が住友の営業は、信用を重んじ確実を旨とし、以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、軽進すべからず

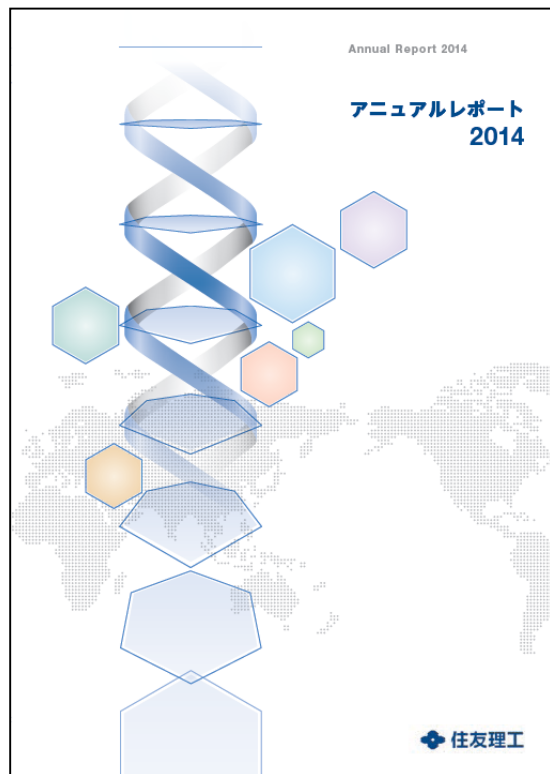
## 住友理工グループ経営理念

住友事業精神を踏まえ、住友理工は、

1. 技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します。
2. 安全を経営の最重要課題と位置付け、人・社会の安全確保に努めます。
3. 地球環境に配慮し、よりよい社会環境づくりに貢献します。
4. 高い企業倫理と遵法の精神で、世界各国の地域社会から信用・信頼される企業を目指します。
5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、活力溢れる企業風土を醸成します。

## ■財務情報と非財務情報(経営戦略・CSR)を統合

## ■独立第三者保証に加え、第三者意見を頂戴し社外からの提言を反映しながら「信頼性」と開示情報の「質」の向上に努めていきます

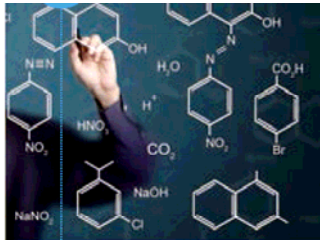


2014年10月1日

発行

国際統合報告評議会(IIRC)が昨年末に発表した最新の「国際統合 報告フレームワーク」に準拠

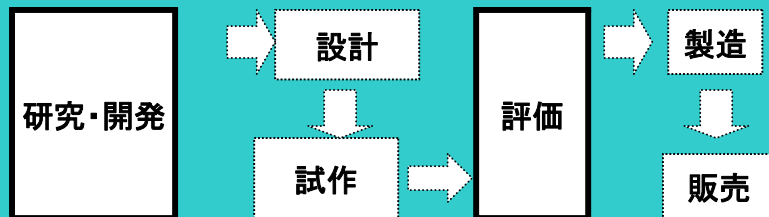
# 住友理工の事業戦略とビジネスモデル



## Global Excellent Manufacturing Company

住友理工は「高分子材料技術」と「総合評価技術」をコアコンピタンスとして、マーケットニーズを具現化することで製品のトップシェアを獲得グローバル・メガ・サプライヤーとなるべくビジネスモデルを展開してきた

「配合」・「合成」・「改質」



これまで培ったこれらのコアコンピタンスを武器に、健康介護など新事業分野への事業展開を加速し、”Global Excellent Manufacturing Company”を目指す

自動車

ICT

インフラ

自動車用品を足がかりに、  
トップシェアを獲得し、  
グローバル・メガ・  
サプライヤーへ

住環境

自動車

産業資材

IT

医療・介護・  
健康

資源・環境・  
エネルギー



# メガサプライヤーを目指す住友理工グループ

## 自動車用品事業の世界戦略

⇒ 新興国シフト + グローバルメガサプライヤーの地位獲得

### 1. お客様動向

#### モジュール化の推進

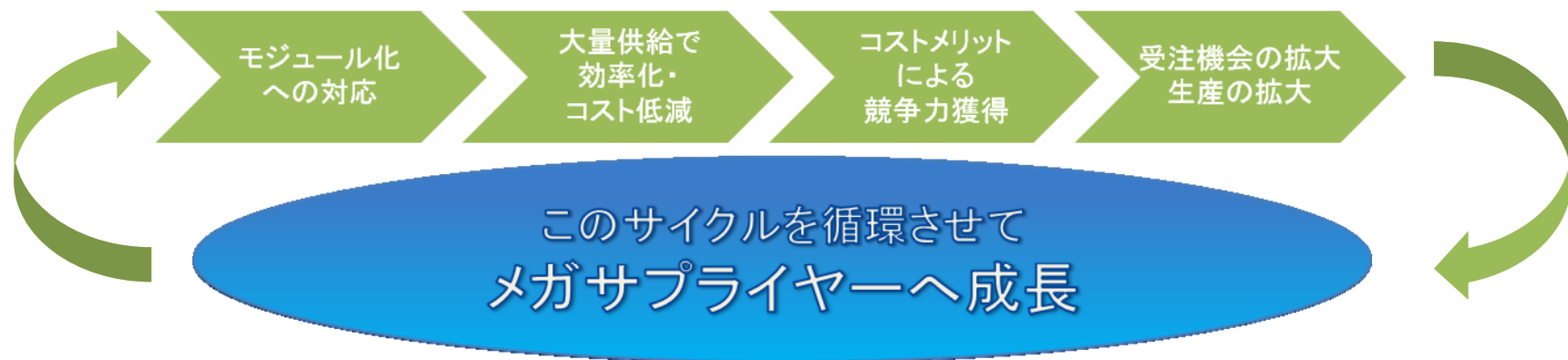
- ・部品/ユニット共通化による開発の効率化・コスト低減
- ・共通化による生産コスト圧縮と車両組み立て時のスピードアップ

#### まとめ発注へのシフト加速

- ・部品共通化による製品発注量の増加⇒材料費削減
- ・全世界で同一品質の製品を大量に供給できる大手サプライヤーへの発注シフトを加速
- ・日系/欧米/系列等の枠組みを越えた発注方針転換

トヨタ(TNGA)、ルノー日産(CMF)、VW(MQB)など世界で部品共通化の動き

### 2. 部品メーカーの目指す姿

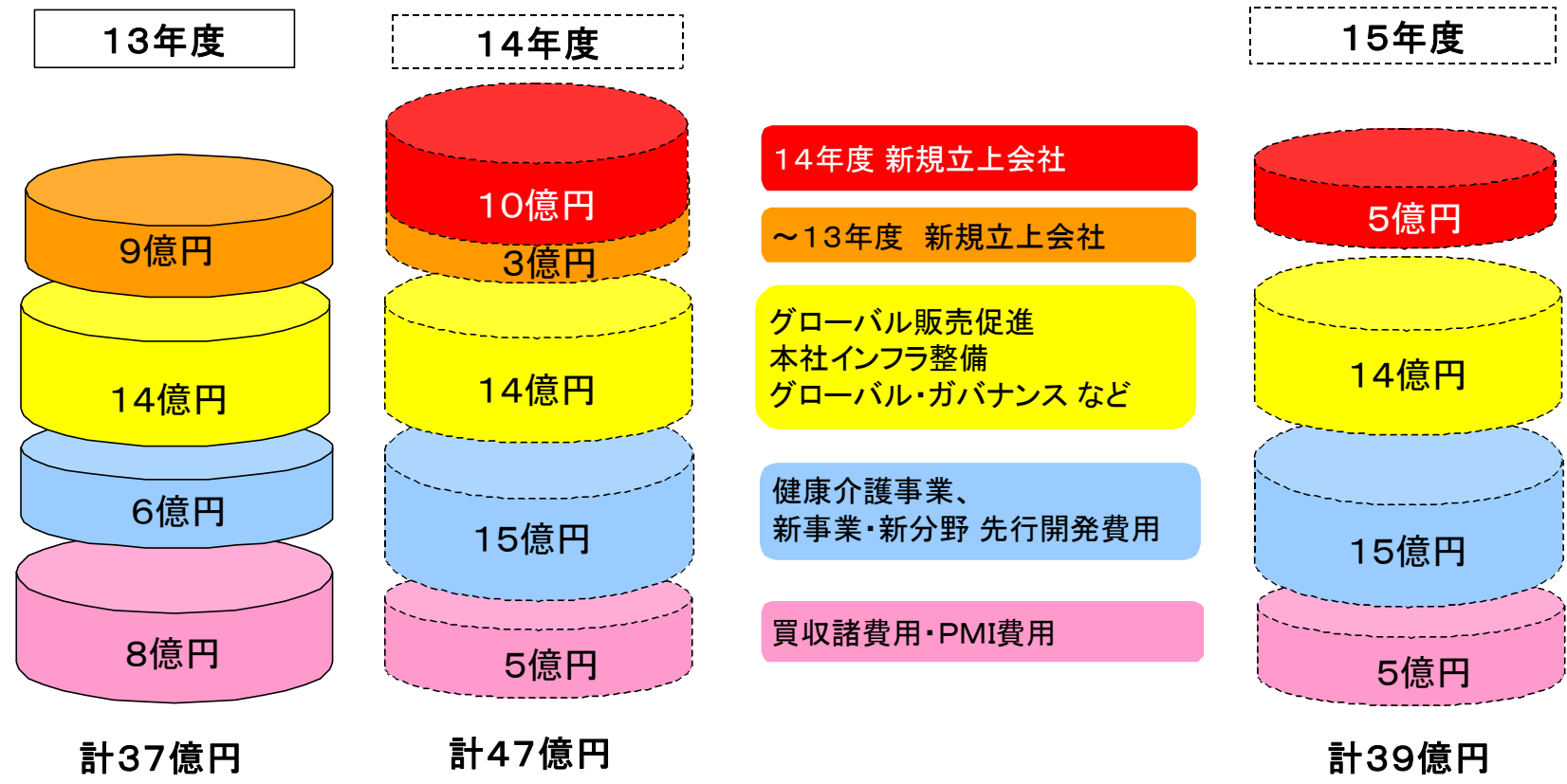
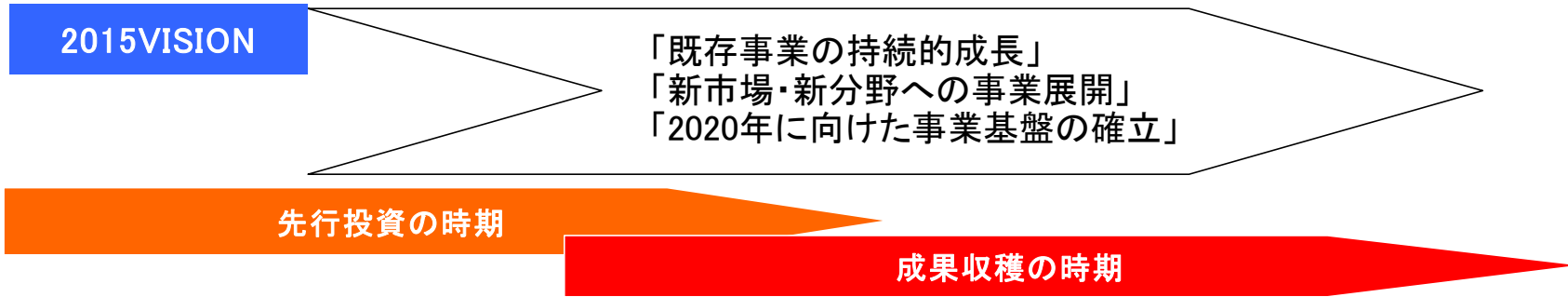


# グローバル拠点網



24カ国 102拠点に 事業展開

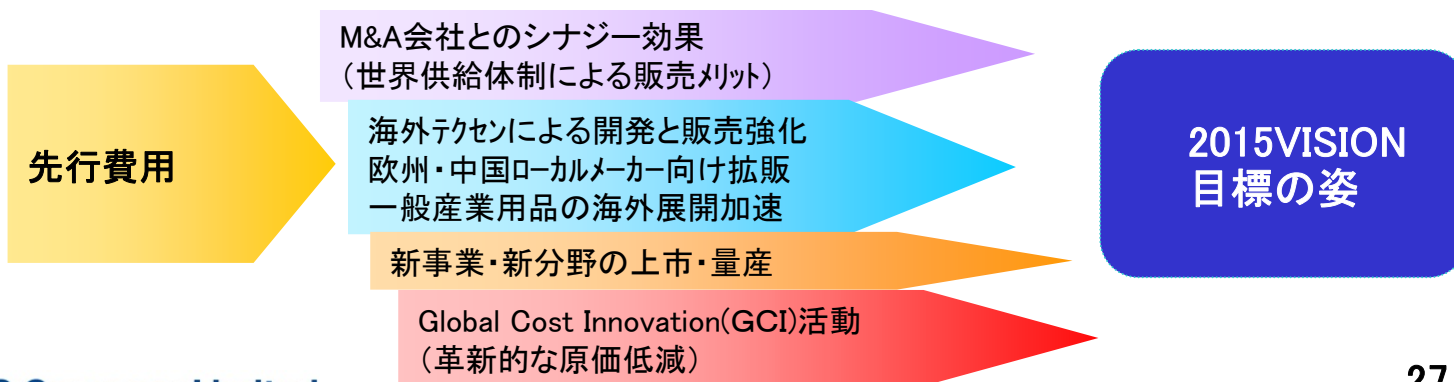
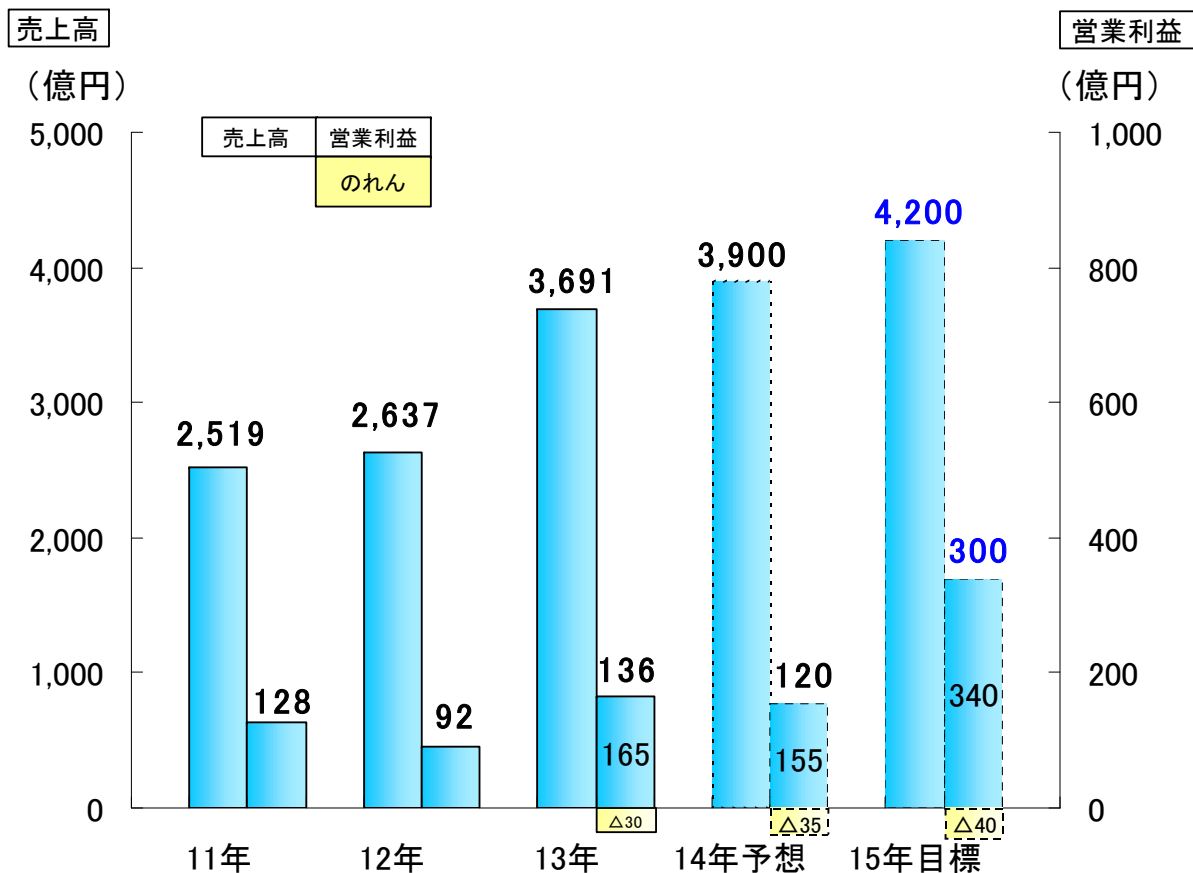
# 2015VISIONに向けた主な先行費用



- 14年度 新規立上会社
- ~13年度 新規立上会社
- グローバル販売促進  
本社インフラ整備  
グローバル・ガバナンス など
- 健康介護事業、  
新事業・新分野 先行開発費用
- 買収諸費用・PMI費用

14年度比較 8億円の費用減

# 2015VISION達成に向けた14年・15年活動



# 自動車用品 重点取り組み事項

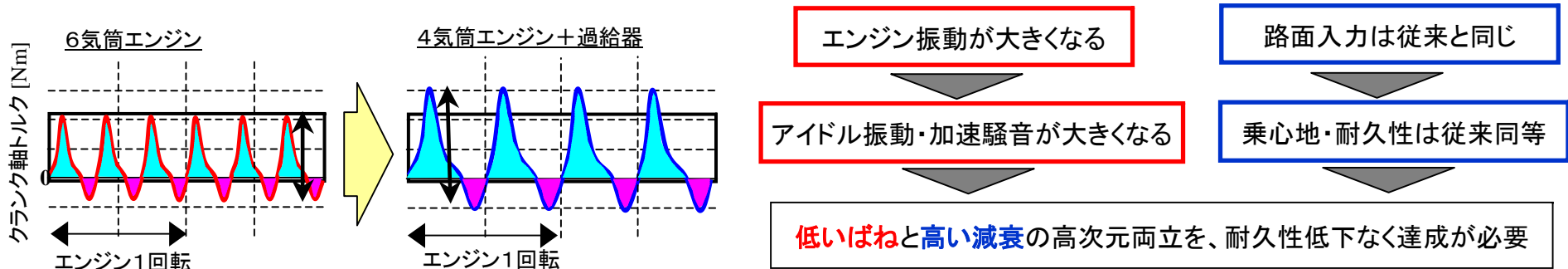
---

1. 環境対応車、小型車向け商品開発
  - (1) 防振ゴムのダウンサイジング
  - (2) 自動車用ホースの配管部品の軽量化
2. グローバル開発体制の整備
3. M&A会社との拡販シナジー

# 防振ゴムの環境対応 (ダウンサイジング)

## ダウンサイジングとは

従来エンジンと同等の動力性能を確保した上で燃費を向上させるために、ターボチャージャーなどの過給器を併用しながら、排気量(気筒数)を小型化すること

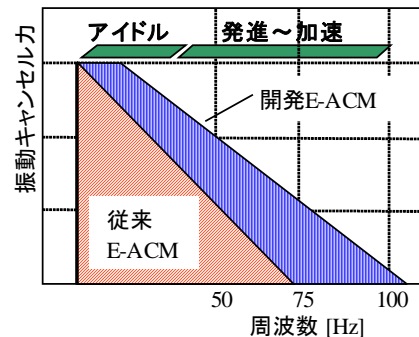


## ○環境対応エンジンに対する防振ゴムの適用事例

### 高性能アクティブコントロールマウント

- ・V6 ⇒ L4+S/C
- ・3000rpm以下のNVでV6同等以下

従来のACMに対して  
振動キャンセル力および  
周波数領域を改善



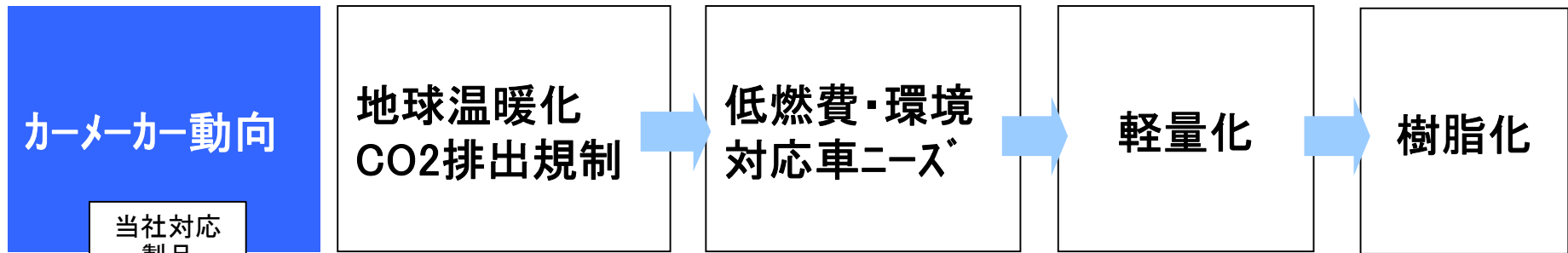
### 自己切替式エンジンマウント

- ・気筒数減 / ディーゼルエンジン
- ・乗心地減衰キープ+アイドルばね低減

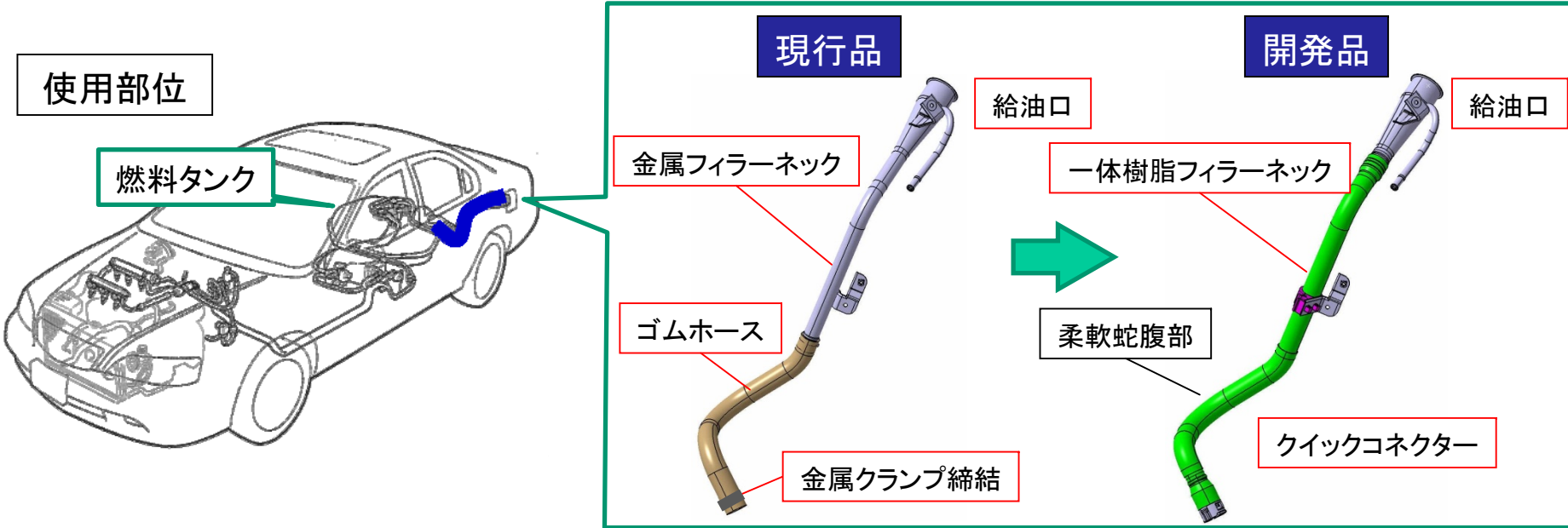
従来の液封マウントに対して入力振幅で  
特性を切り替える独自構造を採用

アイドル領域の特性を大幅に改善

# 自動車用ホースの環境対応 (配管部品の軽量化による燃費向上への貢献)



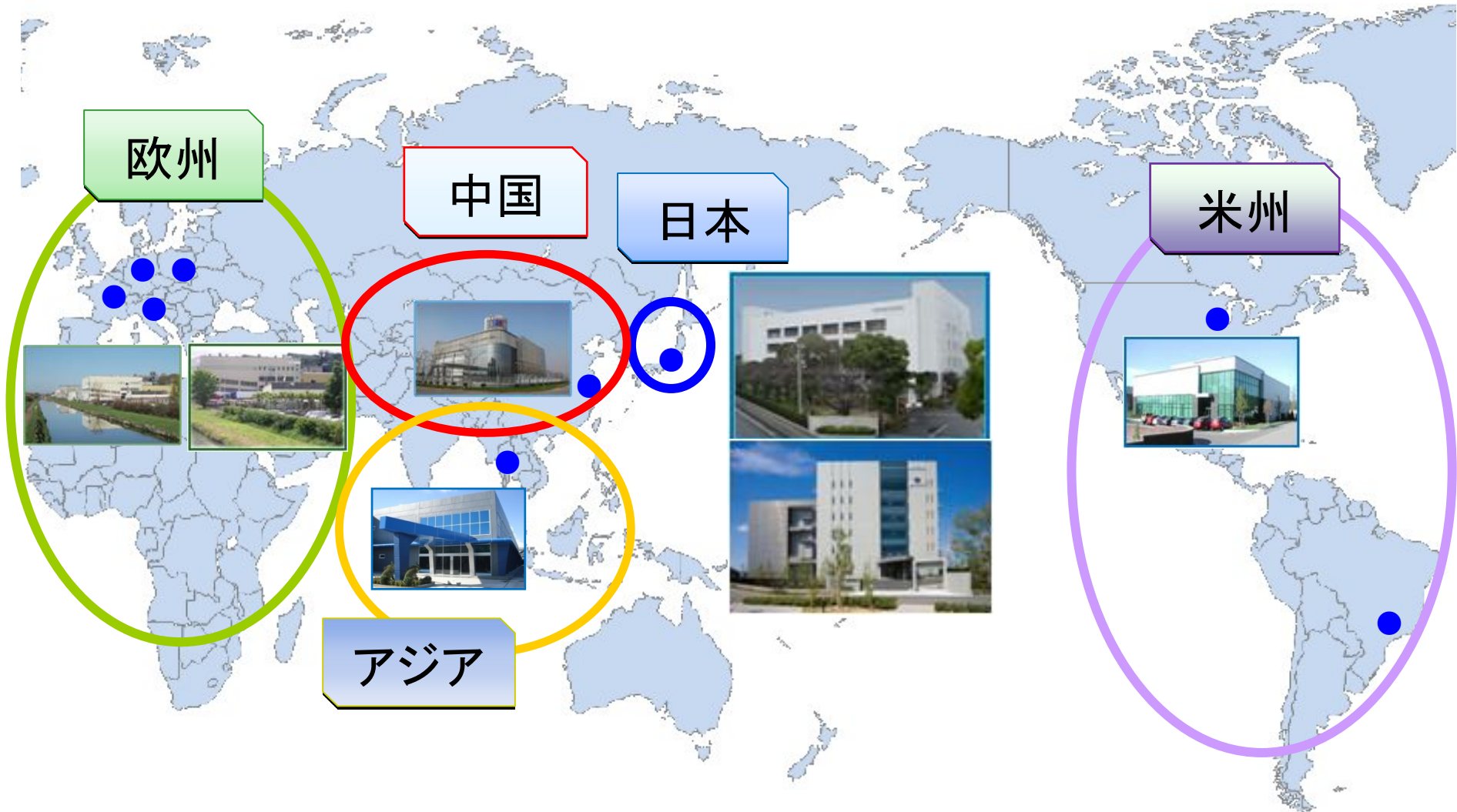
- ファイラーネック配管の樹脂化 【開発品特徴】
- ・軽量化 : 金属ファイラーネック対比 ▲40%
  - ・低燃料蒸散性 : 高分子材料技術と多層押出成形技術により実現  
ゴムホース比 1/100、SHED DBL 4mg/TEST



2016年量産開始に向けて開発中

# 自動車用品事業 グローバル開発体制

自動車メーカーの現地開発の動きに対応し、グローバル5極での現地技術サポート体制を整備



- ・各開発拠点において設計開発対応(試作品製作、製品性能評価)が可能(アジア拠点以外)
- ・中国テクセンは、14年度末から「半無響室」を備えた車両評価対応が可能な本格的開発拠点として稼働させる



# M&A会社との拡販シナジー 3社協働による拡販企画

DYTECH社・ANVIS社との協働により、拡販活動を強力に展開中  
⇒ 拡販活動の一環として展示会の活用により住友理エグループのブランド認知を推進

## SUMITOMO RIKO GROUP



### • Fiat Tech Show

日時: 2014年9月25日  
場所: イタリアトリノ



製品説明の状況

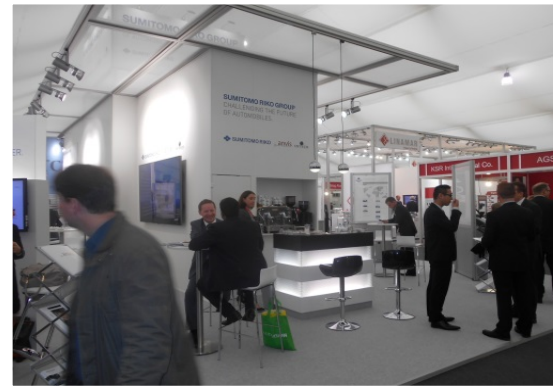


技術プレゼンの様子

 SUMITOMO RIKO Company Limited

### • IZB (Volkswagen)

日時: 2014年10月14日～16日  
場所: ドイツ ウォルフスブルグ



会場ブースの状況



社名変更後、初の展示会出展

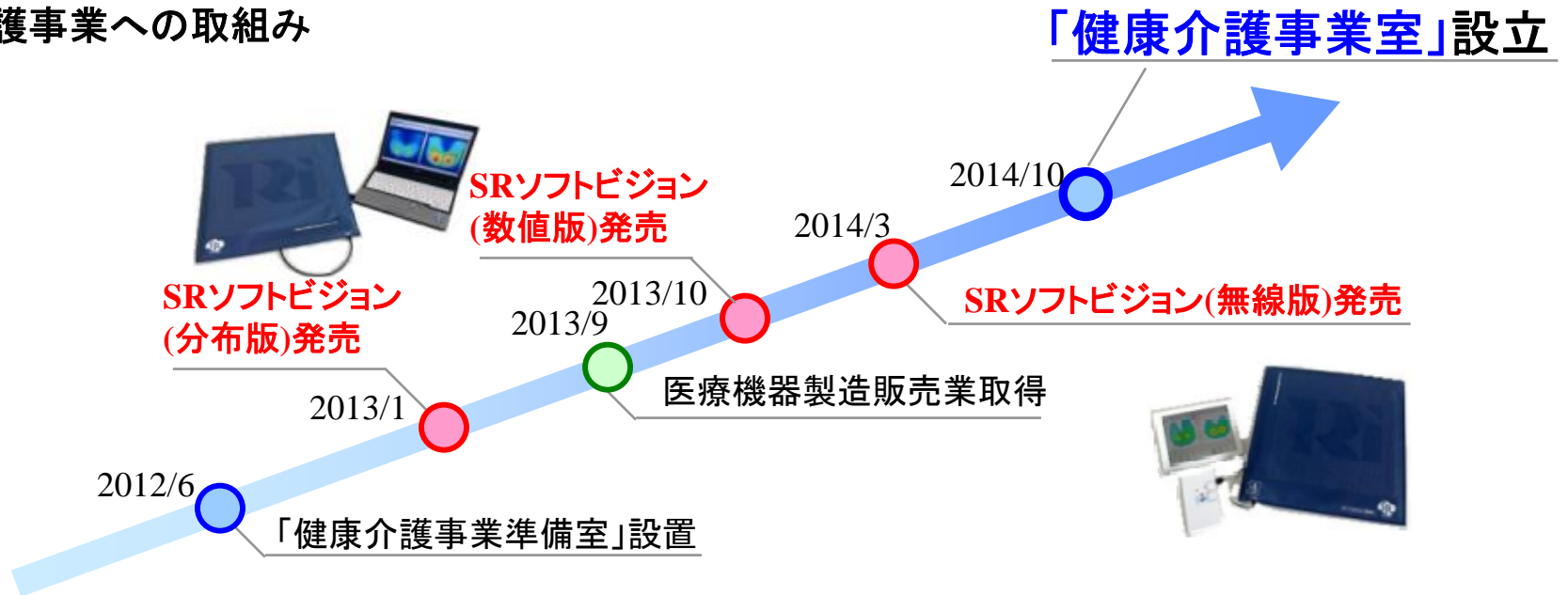
# 新事業分野 重点取り組み事項

---

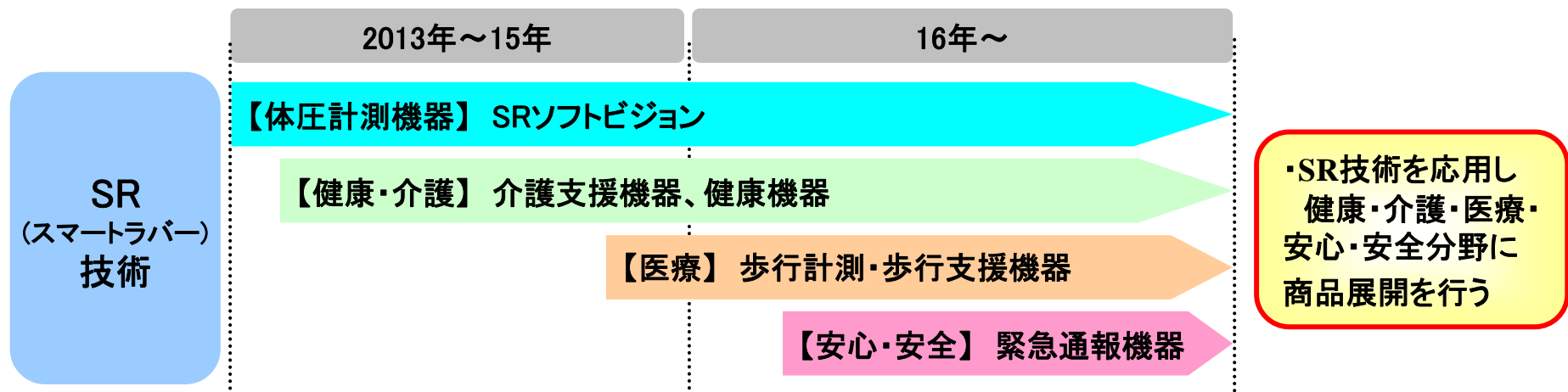
1. 健康介護事業
2. フレキシソ事業

# 健康介護事業室の設立

## ◆健康介護事業への取組み

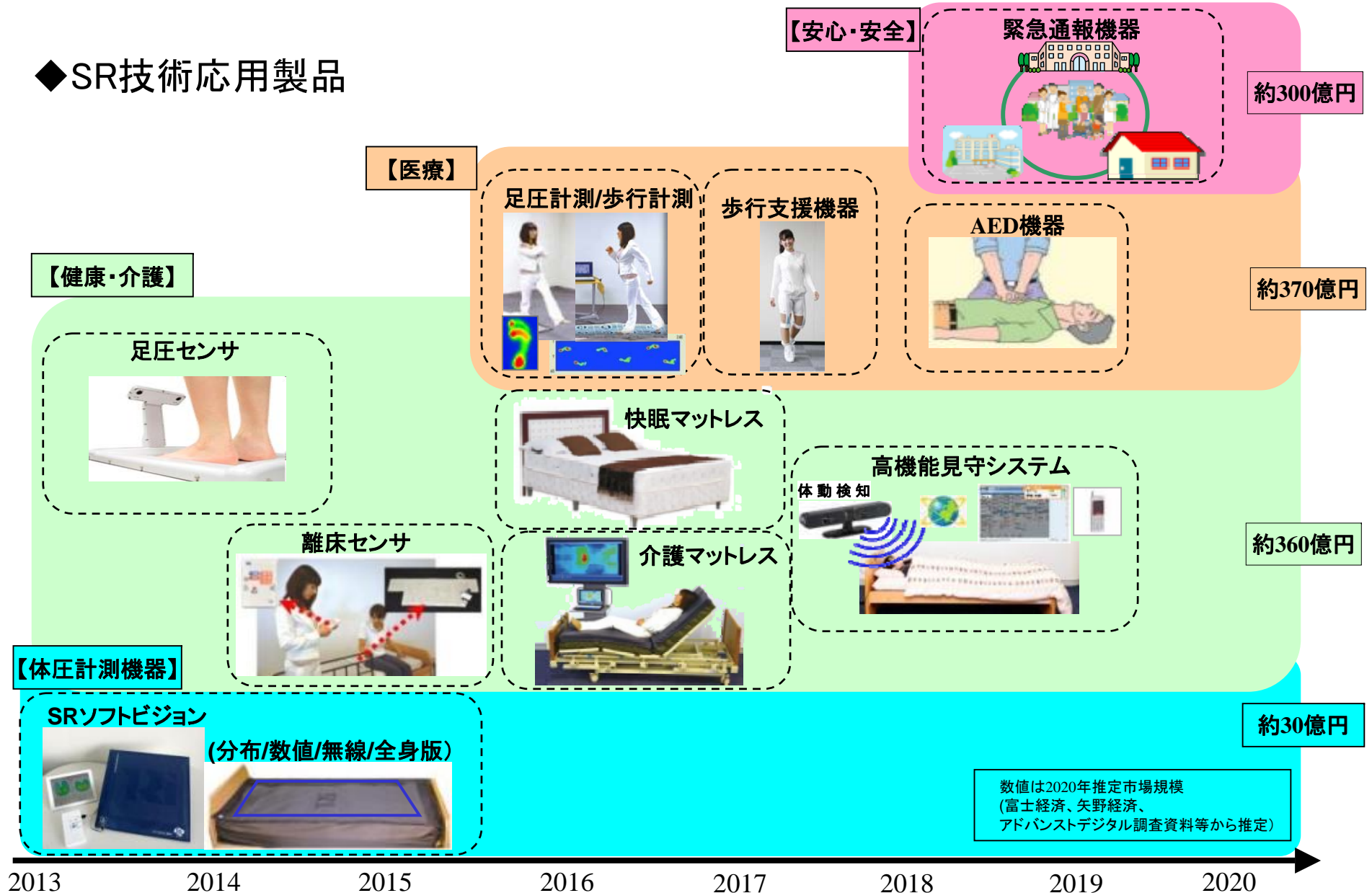


## ◆健康介護事業室の商品展開計画



# 健康介護事業室の商品群

## ◆SR技術応用製品

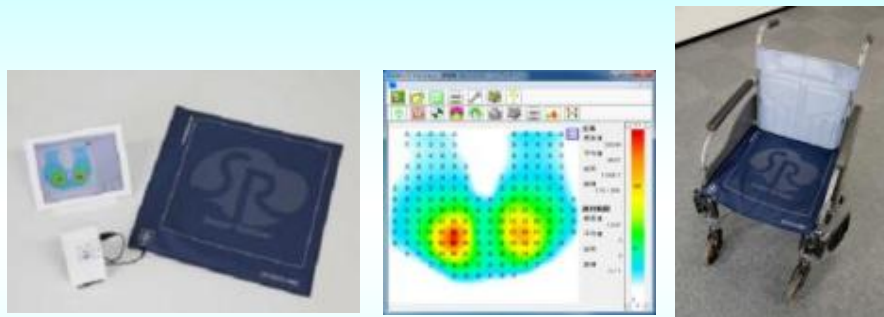


数値は2020年推定市場規模  
(富士経済、矢野経済、  
アドバンスデジタル調査資料等から推定)

2013      2014      2015      2016      2017      2018      2019      2020

# 健康介護事業 代表商品と社外活動

## SRソフトビジョン(分布・数値・無線版)



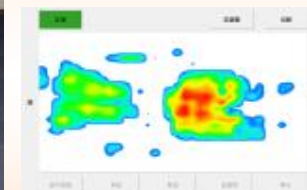
SRセンサ技術を使った体圧分布の可視化

⇒車椅子のシーティングや  
リハビリ・寝たきりの方の床ずれ予防に

## 介護マットレス (体圧分散・褥瘡予防)



開発中

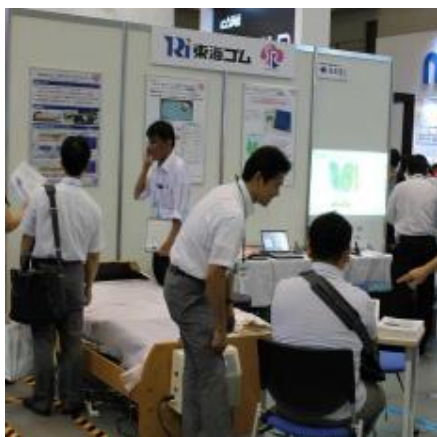


⇒圧力の再分配を行い褥瘡予防と寝心地の最適化

## ●社外での主な活動(産学・展示会)

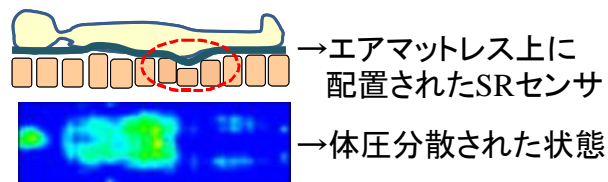
第16回 日本褥瘡学会学術集会 (名古屋) 14年8月

### SRソフトビジョン/介護マットレス



### 九州大学附属病院との共同発表

【体圧センシング機能を有する  
フィードバック制御式エアマットレスの開発】



試作マットレスによるモニター試験

- ・長期間(6ヶ月以上)の臨床試験(30症例)  
による褥瘡の発生有無や、寝心地の評価  
→褥瘡改善を確認

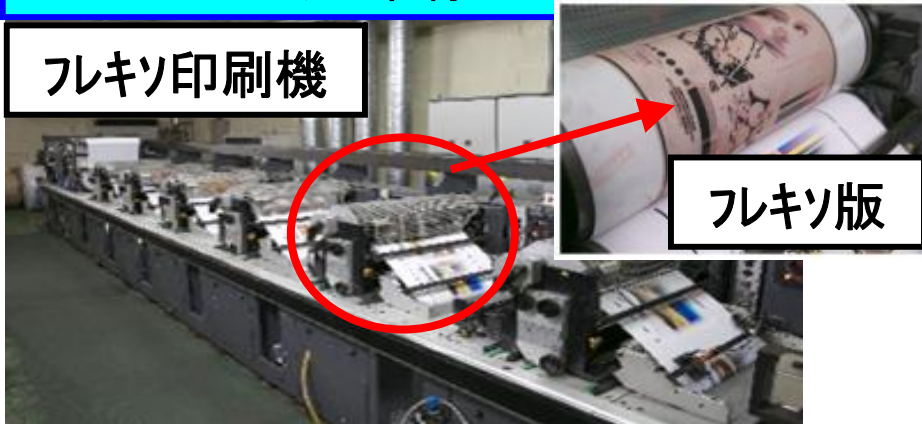
国際福祉機器展2014 (東京) 14年10月



# フレキソ事業 印刷市場動向

## フレキソ印刷

フレキソ印刷機



フレキシ版

## フレキソ印刷とは

柔軟な感光性ゴム版を使った凸版印刷

用途例 軟包装

ラベル・シール

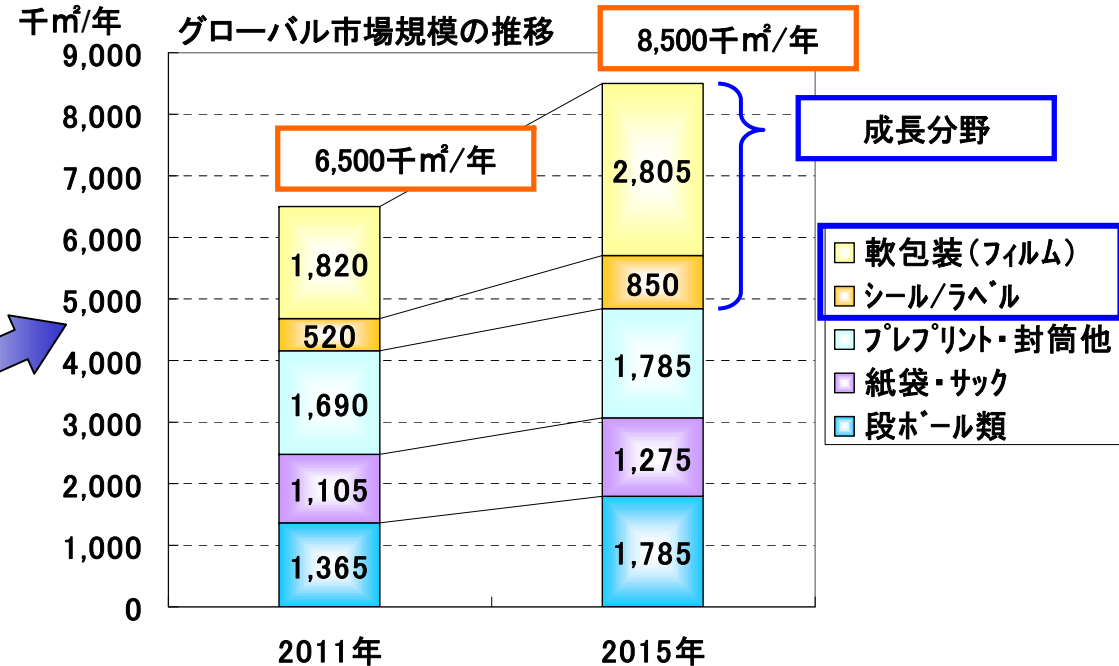


## 印刷市場の動向

電子書籍、インタ-ネットの普及で、市場は業態を変えて来た。

- ・オフセット印刷市場  
デジタル印刷との複合化の動き
- ・グラビア印刷市場  
水性グラビア印刷等、環境対応の動き
- ・フレキソ印刷市場  
環境に優しい水性インキが使用可能  
新興国の成長で年率5~8%拡大  
特に、パッケージ市場(軟包装)は  
食品・医療・衛生分野が拡大

## フレキソ印刷版の動向



# フレキソ事業 フレキソ市場動向

## 世界を取り巻くグローバル環境は

- ・世界の企業は自社製品の包装(パッケージング)に非常に注力
- ・欧米のパッケージ印刷はフレキソ印刷が主流
- ・従来、軟包装フレキソ印刷では溶剤インキが主流  
近年、環境対応で「**水性フレキソ印刷**」が注目されてきている

## 国内では

- ・軟包装印刷はグラビア印刷が主流(フレキソ印刷は5%以下)
- ・近年グラビア印刷業界で、「**水性フレキソ印刷**」移行が拡大の兆し

### (公表事例)

- |           |  |
|-----------|--|
| 外食産業A社    | “水性フレキソ印刷カップ”への移行                                |
| 飲料メーカーB社  | “飲料水 水性フレキソ印刷胴巻きシール”                             |
| 包装メーカーC社  | “環境にやさしい水性フレキソによる軟包材印刷”                          |
| 機材メーカーD社  | “フレキソ印刷の需要が急拡大していることから<br>ダイレクトレーザー彫刻版と水現像版を品揃え“ |
| インキメーカーE社 | “包装用フィルムに印刷するフレキソインキの<br>引き合いが増える、製造ラインの増設“      |

**水性フレキソ印刷が、注目を浴び急速に拡大する**

水性フレキソ印刷＝インキ、製版工程まで脱溶剤化(当社戦略)にミート

# フレキソ事業の今後の展開

## 水現像フレキソ版(AquaGreen)



### AquaGreenの特徴

- 1)世界TOPレベルの高品質版
  - ・高精細印刷の実現
- 2)環境配慮型製品
  - ・溶剤フリーの高速水現像
- 3)画像の高再現性
  - ・デザインの修正不要(画像を忠実に再現)

## フレキソ事業の今後の展開

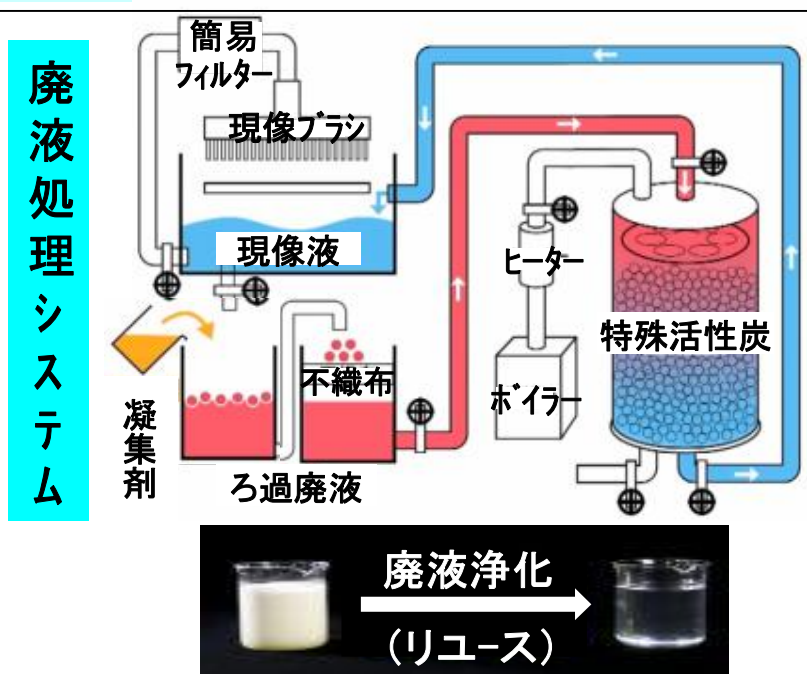
- ・水現像フレキソ版+水現像システムを環境ソリューション事業として展開

## 水現像システム(製版機+廃液処理機)

### 当社独自開発 製版機



廃液処理機





## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の予想のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、住友理工グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした住友理工グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・日本、米州、アジア、欧州その他および住友理工グループが事業活動を行っているその他の国における需要変動
- ・米ドル、アジア・欧州諸国などの各通貨の為替相場の変動
- ・天然ゴムや合成ゴムなどのゴム材料や鋼材などの原材料価格の変動
- ・諸外国における予期せぬ法律や規制の変更、政治・経済状況の変化
- ・大規模な災害等の発生による住友理工グループ・仕入先・納入先等への影響

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、住友理工グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



**住友理工**